

保証書

持込修理

この保証書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

コードレススティッククリーナー	品番 YC-S36G1
★お客様お名前 様	
★ご住所 〒	★電話番号 () -
保証期間 ★お買上げ日 年 月 日から 本体……………1年間 (ただし、電池、消耗部品、付属品を除く)	★取扱販売店名, 住所, 電話番号

★印欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認ください。

お買上げの日から上記保証期間中に、取扱説明書、本体ラベルその他の注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、本書記載内容にもとづき、お買上げの販売店が無料修理いたしますので、商品と本保証書をご持参ご提示のうえ、お買上げの販売店にご依頼ください。

- 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
 - イ. 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
 - ロ. お買上げ後の落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷。
 - ハ. 火災・地震・水害・落雷・その他の天災地変ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障または損傷。
 - ニ. 業務用としての使用、車両・船舶への搭載等一般家庭用以外に使用された場合の故障または損傷。
 - ホ. 本書の提示がない場合。
 - ヘ. 本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - ト. 消耗部品の交換 } 等
仕様変更
- 保証期間内でも商品を修理窓口へ送付された場合の送料や、出張修理を行った場合の出張料は、お客様のご負担となります。
- ご転居の場合は事前にお買上げの販売店にご相談ください。
- ご贈答品等で本書に記入してあるお買上げの販売店に修理をご依頼になれない場合には、下記の「お客様相談室」にお問い合わせください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。 Effective only in Japan.
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保存してください。

●修理メモ

- この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買上げの販売店または株式会社ヤマダホールディングス「お客様相談室」にお問い合わせください。
- 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは、30ページの「修理サービスについて」の項をご覧ください。

株式会社ヤマダホールディングス

【お客様相談室】 TEL 0120-258-260 (無料)

〒370-0841 群馬県高崎市栄町1番1号
受付時間：午前10時～午後9時（元日のみ休日）

取扱説明書

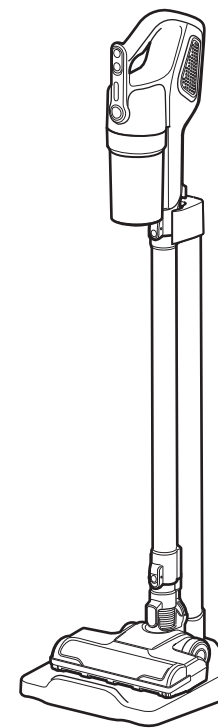
コードレススティッククリーナー 品番 YC-S36G1

一般家庭用
(業務用としては使用しないでください)

保証書付 (裏表紙)

お買上げまことにありがとうございます。

- この「取扱説明書(保証書付)」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも取り出せるところに大切に保管してください。
特に1～9ページの「安全上のご注意」を必ずお読みください。
- この商品を使用できるのは日本国内のみで、国外では使用できません。
This appliance is designed for domestic use in Japan only and cannot be used in any other country.



もくじ

ページ

お使いになる前に	
安全上のご注意	1～9
使用上のご注意	10
各部のなまえとはたらき	11～12
組み立てかた	13～14
充電のしかた	15～16
使いかた	
使いかた	17～19
ゴミを捨てる	20～22
長くご愛用いただくために	
お手入れのしかた	23～26
電池の処分	27
故障かな?と思ったら	28～29
仕様	29
愛情点検	30
修理サービスについて	30
保証書	裏表紙

取扱説明書(保証書付)・本体には商品の色記号の表示を省略しています。
包装箱に表示している品番の()内の記号が色記号です。

ここに示した注意事項は、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するための、安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。その表示と意味は、次のようになっています。

●この表示を無視して、誤った使いかたをしたときに生じる内容を、3つに区分しています。

	危険	人が死亡または重傷を負う可能性が高い内容。
	警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。
	注意	人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。

●本文中の絵表示の意味です。

	○は、してはいけない「禁止」の内容です。		一般的な禁止		分解禁止		接触禁止
			水場での使用・保管禁止		水ぬれ禁止		ぬれ手禁止
	●は、必ず実行していただく「強制」の内容です。		必ず行う		電源プラグを抜く		

お使いになる前に

本体・付属品について 危険

本体の充電端子や電源アダプターのプラグを針金などの金属などで接続しない
電池のショートによる液漏れ・発熱・破裂の原因となります。

電源コードを挟み込んだり、重いものをのせたりしない
電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。

窓を閉めきった自動車の中など高温になる場所に放置しない
高温による本体の変形・電池の液漏れ・発熱・破裂・発火の原因となります。

本体・付属品について 警告

電源コードは乱暴に扱わない
電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたり、熱器具に近づけたりしない。
電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。

運転中に電源アダプターやプラグの抜き差しはしない
感電やけが、過充電による発火や電池の寿命を縮める原因となります。

同梱の専用電源アダプター以外は使用しない
火災・感電の原因となります。

電源アダプターやプラグのさし込みがゆるいときは使用しない
感電・発火の原因となります。

電源アダプターの電源コードを束ねたまま充電しない
火災・感電の原因となります。

同梱の専用電源アダプターを本製品以外に使用しない
火災・感電の原因となります。

電源アダプターの電源コードは、本体、スタンドなどに巻きつけない
電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。

電源アダプター・電源コード・プラグなどが傷んでいたり、熱いときは充電しない
火災・感電の原因となります。

業務用として使用しない、また、不特定多数の人が使うところに置かない
連続過負荷による故障のおそれがあります。

屋外では使用しない
発火・故障の原因となります。

ホコリの多い場所や油煙の当たる場所に保管しない
発火・故障の原因となります。

お使いになる前に

お使いになる前に

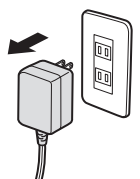
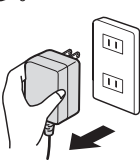
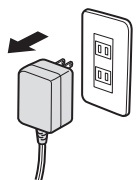
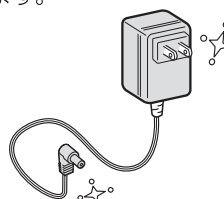
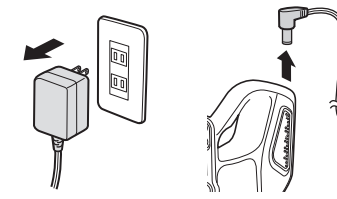
本体・付属品について		警告	
<p> 子供や不慣れなただけで使用させたり、子供の手の届くところで使用しない、保管しない</p> <p>感電・けがの原因となります。</p>	<p> 人やペットに向けて使用しない</p> <p>けが・事故の原因となります。</p>		
<p> 本体の排気口やすき間に指などを入れない</p> <p>感電・けがの原因となります。</p>	<p> 本体の排気口やすき間に金属物や異物を入れない</p> <p>感電・けが・故障の原因となります。</p>		
<p> 引火性のもの(ガソリン・ベンジン・シンナーなど)の近くで使用しない、保管しない</p> <p>爆発や火災の原因となります。</p>	<p> 灯油・ガソリン・シンナーなど引火性のあるもの、タバコの吸殻など火の気のあるものや印刷機のトナーなどの可燃物を吸わせない</p> <p>発火・火災の原因となります。</p>		
<p> 水や液体、また多量の粉末は吸わせない</p> <p>発火・火災・故障の原因となります。</p>	<p> 本体や付属品に強い衝撃をあたえない</p> <p>発火・故障の原因となります。</p>		
<p> 排気口をふさがない</p> <p>発火・火災の原因となります。</p>	<p> ぬれているダストカップ・フィルター部・回転ブラシは使わない</p> <p>感電・発火の原因となります。</p>		

お使いになる前に

本体・付属品について		警告	
<p> 浴室など高温多湿の場所や水がかかる場所では使用しない、保管しない</p> <p>水場での使用・保管禁止</p> <p>絶縁劣化による感電・漏電火災・事故の原因となります。</p>	<p> 本体・電源アダプター・延長パイプ・パワーヘッドは水洗いしない(水洗いできる部品、付属品は除く)</p> <p>水ぬれ禁止</p> <p>感電・発火・故障の原因となります。</p>		
<p> 絶対に改造、分解をしない</p> <p>改造はしない。また、修理技術者以外の方は、分解したり修理をしない。</p> <p>火災・感電・けがの原因となります。修理はお買上げの販売店または株式会社ヤマダホールディングス「お客様相談室」にご相談ください。</p>	<p> 運転中は、絶対にパワーヘッドの回転部に触れない</p> <p>接触禁止</p> <p>けがや故障の原因となります。※特に幼児や子供、不慣れな人には注意してください。</p>		
<p> ぬれた手で電源アダプターやプラグの抜き差しはしない</p> <p>ぬれ手禁止</p> <p>ショート・感電・けがの原因となります。</p>	<p> 電源は交流100Vのコンセントを単独で使用する</p> <p>他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して、発火することがあります。</p> <p>交流100V</p>		
<p> 電源アダプターはコンセントの根元までしっかりさし込む</p> <p>さし込みが不完全の場合、発煙・発火・火災・感電・ショートの原因となります。</p>	<p> 電源アダプターを抜きさしするときは、必ず電源を切る</p> <p>感電・発火・火災の原因となります。</p> <p>電源を切る!</p>		

お使いになる前に

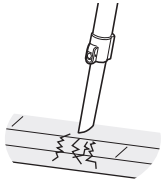
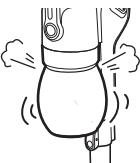
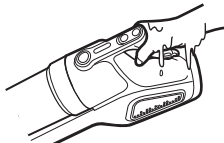
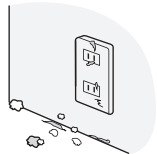
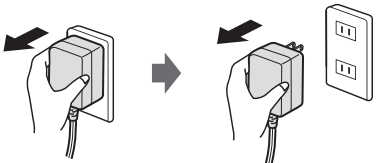
お使いになる前に

<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> 本体・付属品について <div style="text-align: center;"> <h2 style="margin: 0;">警告</h2> </div> </div>	
<p>! 異常・故障時には、使用を中止し、充電しないでください</p> <p>使用および充電を続けると、発煙・発火・感電・けがのおそれがあります。</p> <p><異常・故障例></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 本体が変形したり、異常に熱い。 ● 電源コードや電源アダプターが変形・変色・損傷している。 ● 電源コードの一部や電源アダプターがいつもより熱い。 ● 電源アダプターのプラグや電源コードを動かすと電池残量表示ランプが点灯したり、しなったりする。 ● 異常なおいや音、振動がする。 ● ビリビリと電気を感じる。 <p>※お買上げの販売店または株式会社ヤマダホールディングス「お客様相談室」に点検、修理を依頼してください。</p>	<p>⚡ 充電時間が経過しても充電完了にならない場合は、電源アダプターをコンセントから抜いて充電をやめる</p> <p>電源プラグを抜く</p> <p>発熱・破裂・火災の原因となります。</p> 
<p>⚡ 電源アダプターを抜くときは、必ず電源アダプターを持ってコンセントから抜く</p> <p>電源プラグを抜く</p> <p>火災や事故の原因となります。</p> 	<p>⚡ お手入れの際は、必ず電源を切り、電源アダプターをコンセントから抜く</p> <p>電源プラグを抜く</p> <p>感電・発火・火災・故障の原因となります。</p> 
<p>⚡ 電源アダプターの刃、およびプラグは清潔にする</p> <p>電源プラグを抜く</p> <p>プラグや刃および刃の取付面にホコリが付着している場合は、乾いた布でよく拭いてください。</p> <p>火災の原因となります。</p> 	<p>⚡ 充電時以外は、必ず電源アダプターをコンセントから抜き、プラグを本体から抜く</p> <p>電源プラグを抜く</p> <p>絶縁劣化による感電・漏電火災や事故の原因となります。</p> 

<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> 本体・付属品について <div style="text-align: center;"> <h2 style="margin: 0;">注意</h2> </div> </div>	
<p>⊘ 電源アダプターが破損するようなことはしない</p> <p>電源コード、または電源アダプターをパワーヘッドの回転部に巻き込ませる、傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものをのせる、束ねて使用する、などをしない。</p> <p>感電・ショートによる発火の原因となります。修理はお買上げの販売店または株式会社ヤマダホールディングス「お客様相談室」にご相談ください。</p> 	<p>⊘ 運転中は絶対に「ゴミすてボタン」を押さないでください</p> <p>ダストカップが外れ、ゴミが飛び散る原因となります。</p> 
<p>⊘ ベンジン・シンナー・アルコールで拭いたり、殺虫剤などのスプレーをかけたり、油や薬品を使う場所では使用しない</p> <p>本製品が変質したり、故障の原因となります。</p> 	<p>⊘ 掃除以外の目的では使用しない</p> <p>けがや故障の原因となります。</p>
<p>⊘ 火気に近づけない</p> <p>変形によるショート・発火の原因となります。</p> 	<p>⊘ 倒れやすいもの、壊れやすいものの近くで使用しない、本製品は壁に立てかけたり、立てたままにしない</p> <p>財産の損害や倒れてけがや故障の原因となります。また、床面を傷つける原因となります。</p> 
<p>⊘ ラジオやテレビなどの通信機器の近くで使用しない</p> <p>ラジオ・テレビ・無線機器などの映像や音声に乱れや雑音が入る原因となります。</p> 	<p>⊘ 本製品を引きずらない</p> <p>床面などを傷つける原因となります。</p> 
<p>⊘ 使用中や使用直後はお手入れしない</p> <p>けが・やけど・事故の原因となります。</p> 	<p>⊘ 使用直後は必ず電源を切り、電源アダプターをコンセントから抜き、プラグを本体から抜く</p> <p>電源プラグを抜く</p> <p>感電・発火・火災・故障の原因となります。</p> 

お使いになる前に

お使いになる前に

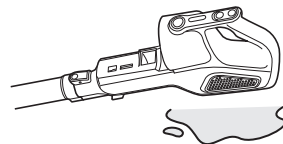
本体・付属品について		⚠ 注意	
<p>❌ フィルター、またはフィルター部分を外したままで使わない</p> <p>発火・火災・故障の原因となります。</p> 	<p>❌ 吸込口やノズルを床や家具に押しつけない</p> <p>床面や家具を傷つける原因となります。</p> 	<p>❌ 回転ブラシにゴミなどがからみついたままで長時間使わない</p> <p>発火・火災・故障の原因となります。</p> 	<p>❌ 吸込口やダストカップ内部にゴミなどが詰まったままで長時間使わない</p> <p>発火・火災・故障の原因となります。</p> 
<p>❌ ノズルなどの付属品と消耗部品は本製品専用の付属品以外を使用しない</p> <p>けがや故障の原因となります。</p>	<p>❌ パワーヘッドの起毛布・ブラシカバー・回転ブラシ・ロック解除レバーなどが摩耗したり砂・小石などの異物が付着したら、そのまま使わない</p> <p>床面の傷つきの原因となります。ご使用前に点検し、摩耗時はお買上げの販売店または株式会社ヤマダホールディングス「お客様相談室」にご相談ください。</p> 	<p>❌ ノズルなどの本製品専用付属品と消耗部品を本製品以外に使用しない</p> <p>けがや故障の原因となります。</p>	<p>❌ めれた手で使わない</p> <p>ショート・感電の原因となります。</p> <p>ぬれ手禁止</p> 
<p>❗ コンセントの周りは清潔にする</p> <p>絶縁劣化による感電・漏電火災・けがの原因となります。</p> 	<p>❌ 電源アダプターは、まっすぐ引き抜く</p> <p>感電・発火の原因となります。</p> <p>電源プラグを抜く</p> 		

電池(本体内蔵)について		⚠ 危険	
<p>❌ 電池を本製品以外で使用しない</p> <p>また、本製品以外の電池を使用しない</p> <p>液漏れ・発煙・感電・破裂の原因となります。</p> 	<p>❌ 火の中に投下したり加熱しない</p> <p>液漏れ・発熱・破裂・発火の原因となります。</p> 	<p>❌ 火気の近くや炎天下など高温の場所で充電、使用しない</p> <p>液漏れ・発熱・破裂・発火の原因となります。</p> 	<p>❌ 落下させたり衝撃を与えない</p> <p>液漏れ・発熱・破裂・発火の原因となります。</p> 
<p>❌ 電池の端子にピンなどの金属物やゴミを付着させない</p> <p>感電・発火の原因となります。</p> 	<p>❌ 絶対に改造、分解をしない</p> <p>改造はしない。また、修理技術者以外の人は、分解したり修理をしない。火災・感電・けがの原因となります。修理はお買上げの販売店または株式会社ヤマダホールディングス「お客様相談室」にご相談ください。</p> <p>分解禁止</p> 	<p>❌ 水をかけたり、水の中に入れない</p> <p>液漏れ・発熱・感電・発火の原因となります。</p> <p>水ぬれ禁止</p> 	

電池(本体内蔵)について

警告

電池が液漏れしたり、変色・変形しているときは使用しない
電池の発熱・発火・破裂の原因となります。



本体、電池は普通のごみと一緒に捨てない
特に電池は発火・環境破壊の原因となります。



電池から漏れた液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受ける
失明など目に障害を与える原因となります。



電池から漏れた液が皮膚や衣服についたときは、すぐにきれいな水で洗い流す
皮膚がかぶれる原因となります。

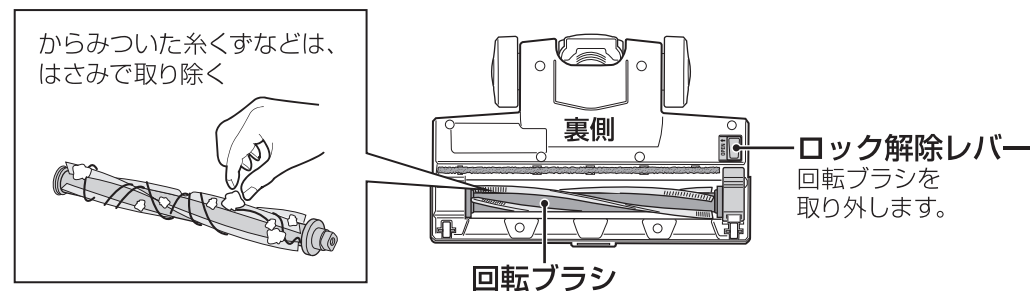


お使いになる前に

お使いになる前に

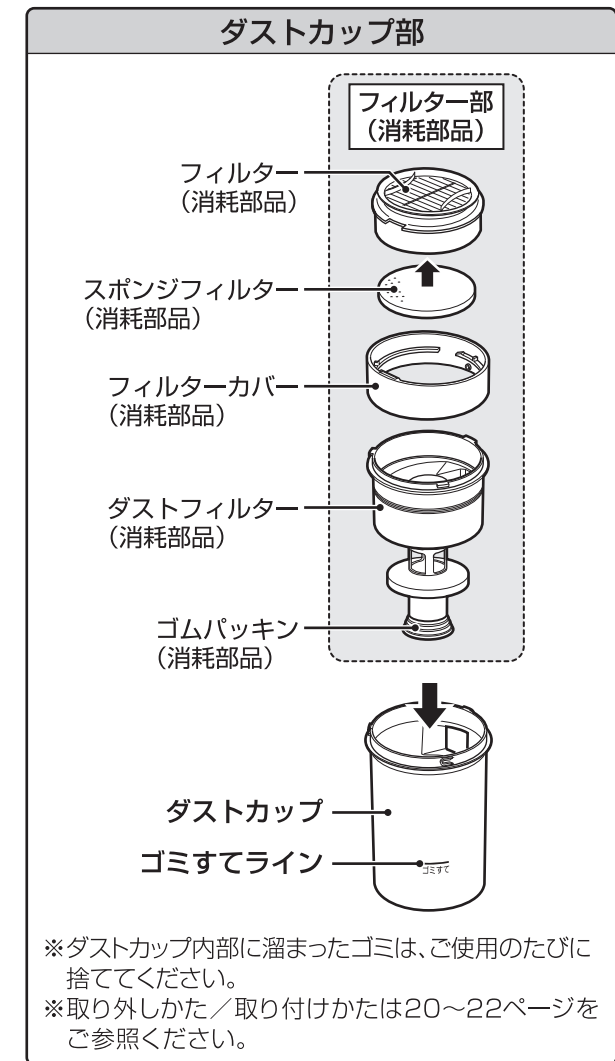
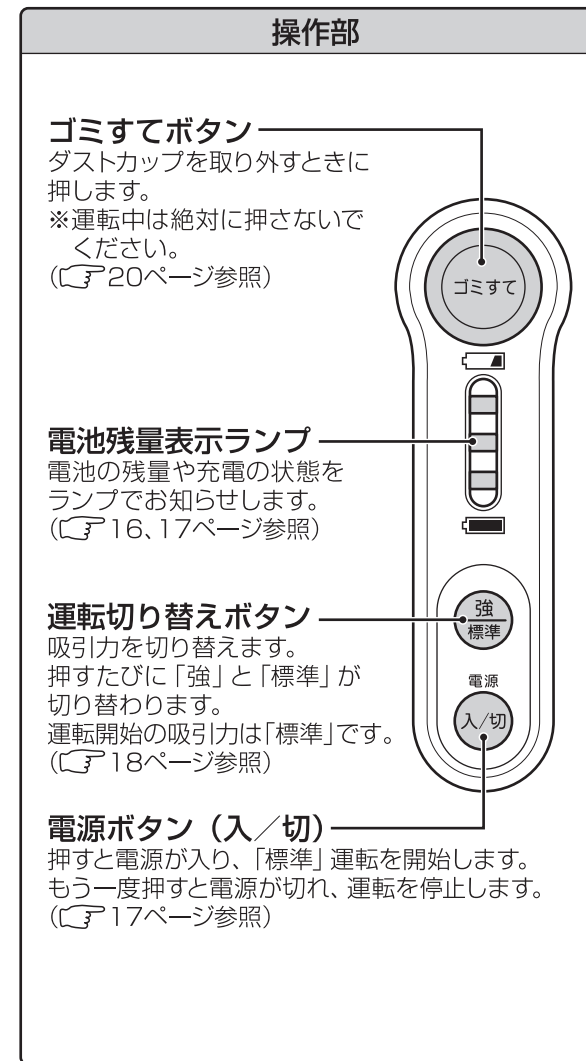
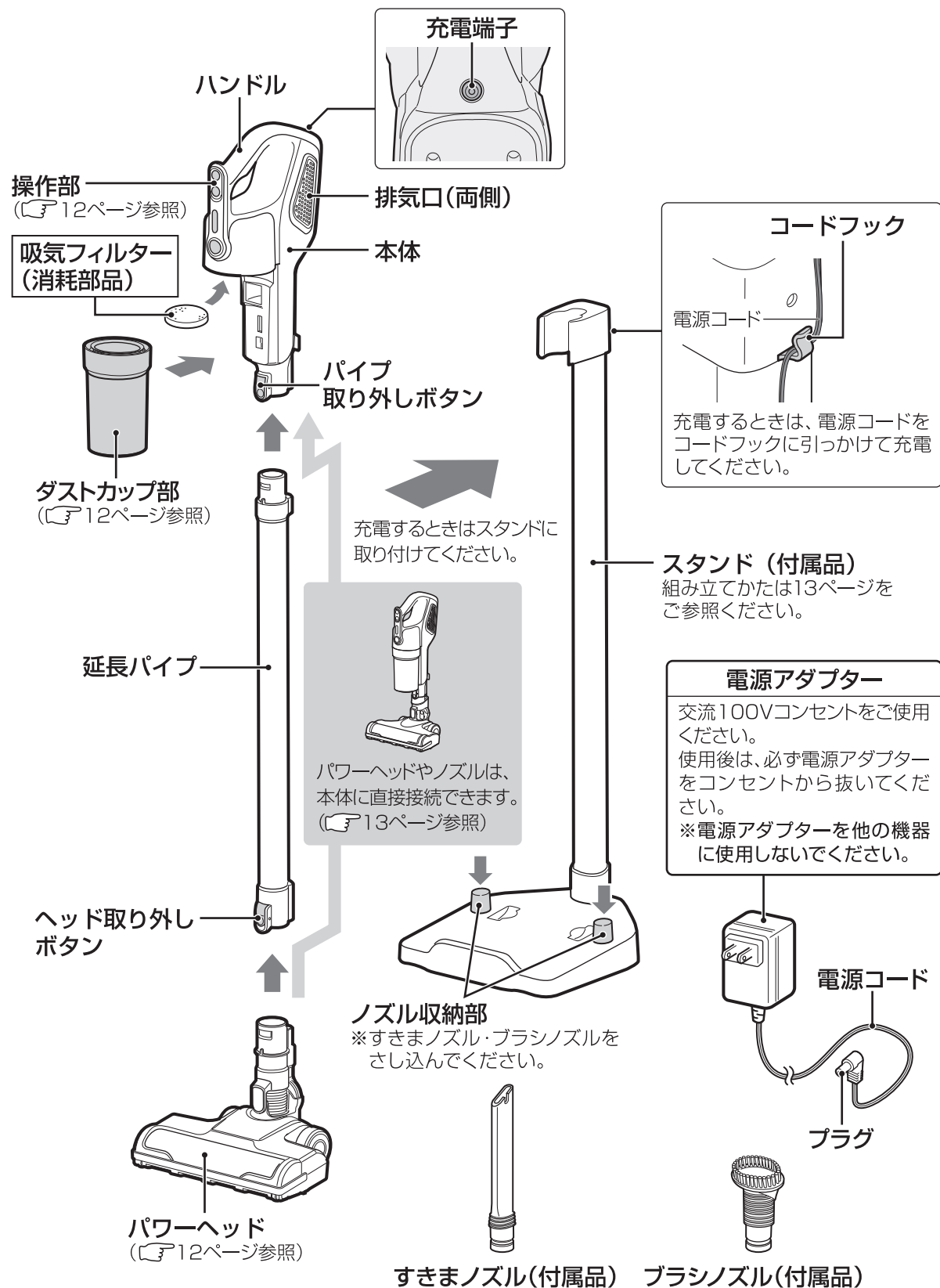
お願い

- **ゴミはこまめに捨ててください**
フィルターやパワーヘッド・ノズルに詰まり、故障の原因となります。
- **フィルター部のお手入れは定期的に行ってください**
吸込力の低下や故障の原因となります。
- **フィルター部は専用のものを正しく取り付けてください**
吸込力の低下や故障の原因となります。
- **本製品は一般家庭用のため、業務用には使用しないでください**
発火・故障の原因となります。
- **天災などの不可抗力や、不当な修理・改造による故障、損害に対する保証は致しかねます**
- **商品および梱包材を廃棄する際は、お住まいの自治体の取り決めに従ってください**
- **本製品は立てたまま保管しないで、必ず付属のスタンドに取り付けて保管してください**
けがや床面、家具に傷をつけたり故障の原因となります。
- **次のようなものは吸わせないでください**
フィルターやパワーヘッド・ノズルに詰まり、故障・異臭・発火の原因となります。
 - ・殺虫剤などの薬品類
 - ・除湿剤
 - ・多量の粉（消火器の粉など）
 - ・スプレー
 - ・ペットなどの排泄物が付着したもの
 - ・水や液体
 - ・ガラス
 - ・ピン
 - ・針などがったもの
 - ・つまようじ
 - ・長いひも
 - ・大きなゴミ
 - ・湿ったもの
 - ・カーペットのフリンジ（房）
 - ・吸込口に詰まりやすいもの（ストッキングなど）
- **小石・砂などがある場所は掃除しないでください**
故障や異臭の原因となります。
- **本体や延長パイプの先で吸わないでください**
必ずパワーヘッド、または付属のノズルを接続してください。先端の摩耗などによる接触不良や破損の原因となります。
→狭所はすきまノズル、またはブラシノズルをご利用ください。
- **吸込口や排気口をふさいだまま使わないでください**
故障の原因となります。
- **パワーヘッドの回転ブラシが動作できない状態になるとモーター保護装置が作動し、本体LEDランプが20秒間点滅して運転を停止します。その場合は回転ブラシにからみついたゴミなどを取り除いてください**
パワーヘッドのお手入れは「パワーヘッドのお手入れ（P.26ページ）」を参考に行ってください。

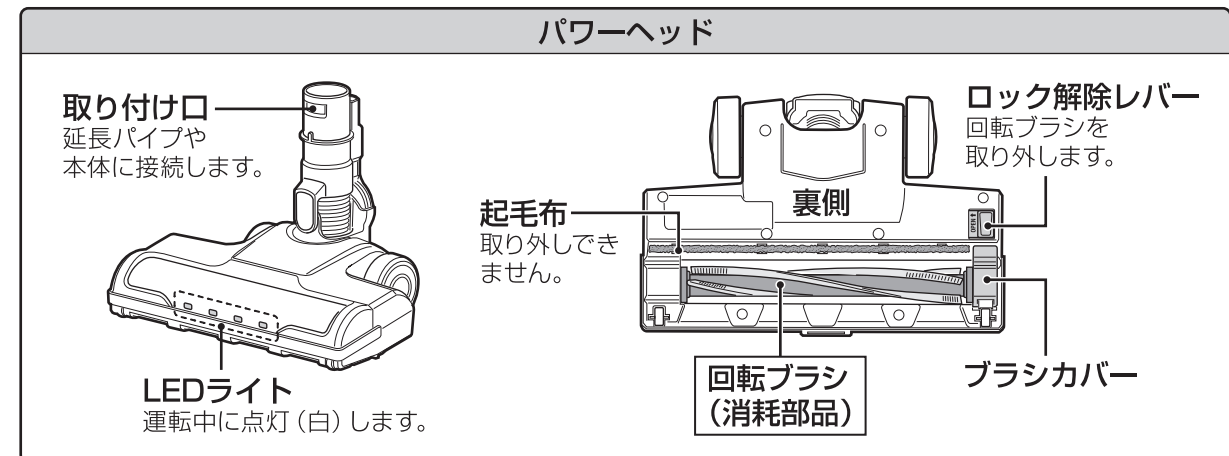


各部のなまえとはたらき

お使いになる前に



お使いになる前に



消耗部品 消耗部品はメーカー保証対象外で有償です。ご使用にともない劣化したり損傷したときは、お買い上げの販売店または株式会社ヤマダホールディングス「お客様相談室」にご相談ください。

組み立てかた

スタンドの組み立てかた

1 ポールをスタンドベースに確実にさし込む

- ※ポールに上下の向きはありません。
- ※ポールが確実にさし込まれていることを確認してください。

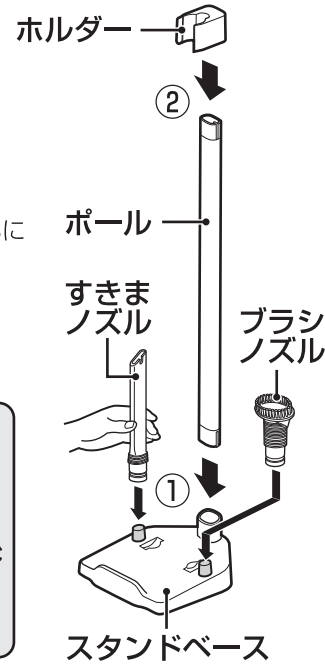
2 ホルダーをポールに確実にさし込む

- ※ホルダーが確実にさし込まれていることを確認してください。
- 付属のすきまノズル・ブラシノズルは、スタンドベースのノズル収納部にさし込んで収納してください。

※一度さし込んだポールやホルダーは無理に抜かないでください。破損するおそれがあります。

お願い

- スタンドは、不安定なところに設置しないでください。
- スタンドの周囲に倒れやすいものがないか確認してください。
- 子供やペットが近づかないようにしてください。
- 本製品をスタンドに取り付けるときは、本体に延長パイプとパワーヘッドを接続した状態で取り付けてください。
- 充電するときは、必ず本製品をスタンドに立てた状態で充電してください。

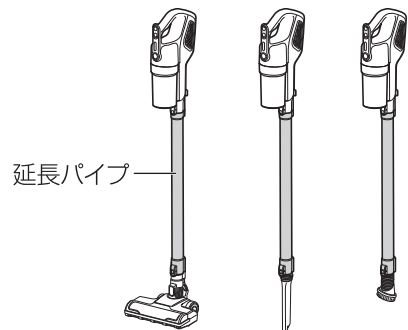


パワーヘッド／ノズルを組み立てる前に

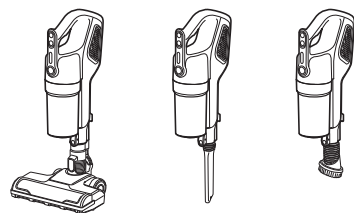
お願い

- 本体を組み立てるときは、電源を入れないでください。
- 延長パイプ／パワーヘッド／すきまノズル／ブラシノズルを他の製品で使用しないでください。また、必ず本製品に付属のものを接続してください。
- 延長パイプ／パワーヘッド／すきまノズル／ブラシノズルは確実に取り付けてください。ご使用中に落下するおそれがあります。
- 本製品をスティッククリーナーとして使用する場合は、延長パイプを接続してください。ハンディクリーナーとして使用する場合は、延長パイプを取り外し、パワーヘッドまたは、ノズルを直接本体に接続してください。「掃除する場所に合わせて、パワーヘッドとノズルを使い分ける (P19ページ)」

スティッククリーナーとして使用する場合



ハンディクリーナーとして使用する場合



パワーヘッド／ノズルの組み立てかた

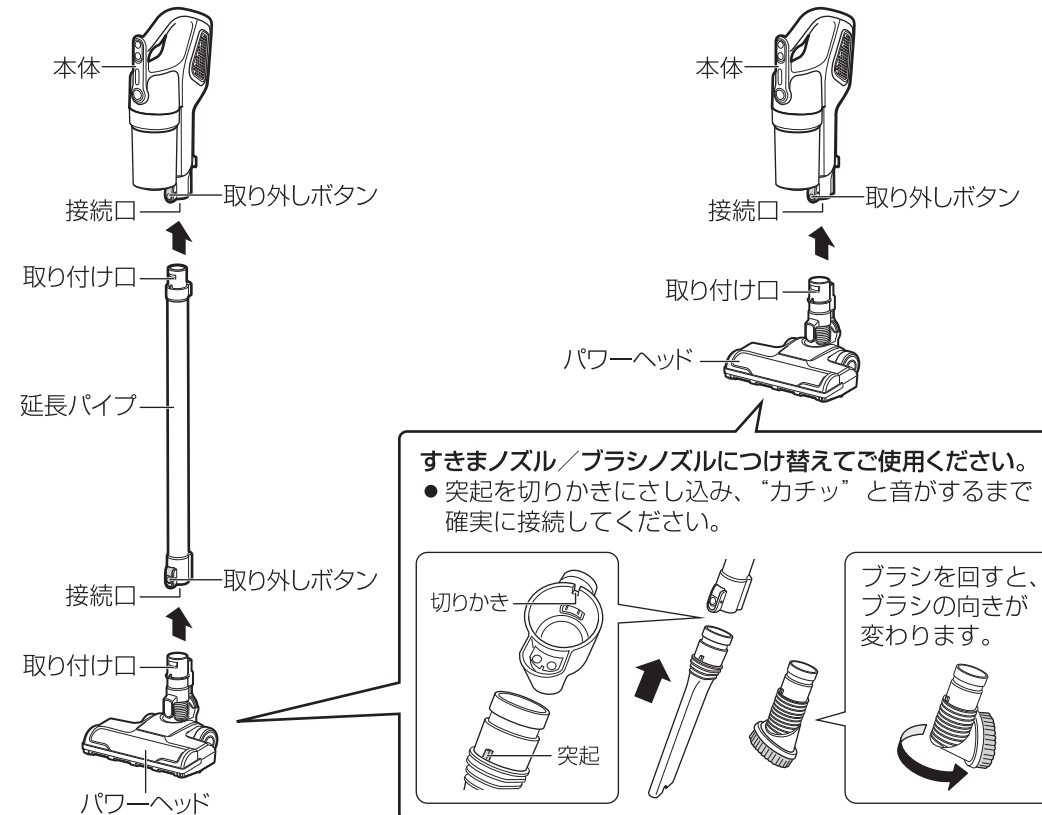
取り付けかた

スティッククリーナーとして使用する場合は、延長パイプの取り付け口を本体の接続口に接続し、パワーヘッド (またはノズル) を延長パイプに接続する
ハンディクリーナーとして使用する場合は、パワーヘッド (またはノズル) の取り付け口を本体の接続口に接続する

- “カチッ”と音がするまで確実に接続してください。

スティッククリーナーとして使用する場合

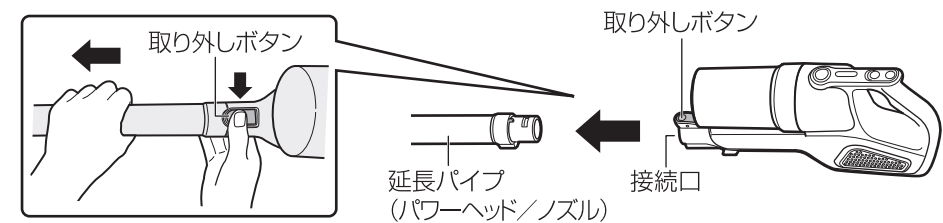
ハンディクリーナーとして使用する場合



取り外しかた

パワーヘッド／延長パイプ／ノズルを取り外すときは、「取り外しボタン」を押しながら引き抜く

※イラストは延長パイプの取り外しかたを説明していますが、パワーヘッドまたは、ノズルも同様の手順で取り外しを行ってください。



- ダストカップの組み立てかたは「お手入れのしかた (P24～25ページ)」をご参照ください。

充電のしかた

●お買上げ時は電池が十分に充電されていませんので、ご使用前に充電してください。

お願い

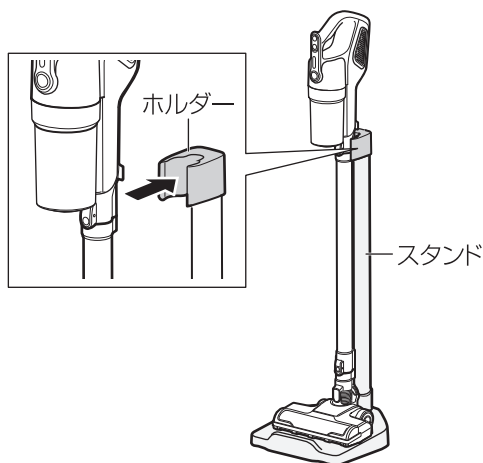
- 長時間使用しないときは、安全のため電源アダプターをコンセントから抜いてください。
- 長時間充電せずに放置した場合、必ず充電してからご使用ください。充電しないと電池の性能を損なう場合があります。
- 充電するときは、電源コードをスタンドのコードフックに引っかけて充電してください。
- 電源コードをスタンドや本体に巻きつけたり、束ねたりしないでください。発火・火災や事故の原因となります。
- 室温が5℃以上35℃以下の場所で充電してください。室温が低い場合や、直射日光が当たるなど高温の場所では正しく充電されません。運転時間が短くなったり、充電時間が長くなったりすることがあります。
- 電池を使い切ったまま放置すると電池が劣化する原因となります。電池を長持ちさせるために、長期間使用しない場合でも1年に1回程度、充電を行い電池容量の半分程度に充電してください。

お知らせ

- 初めてお使いのときや長時間充電せずに放置したときは、電池が自己放電していますので使用時間が短くなることがあります。
- 標準充電時間は約4時間ですが、周囲温度やご使用の状態により変わります。
- 充電中に本体や電源アダプターが温かくなりますが、異常ではありません。

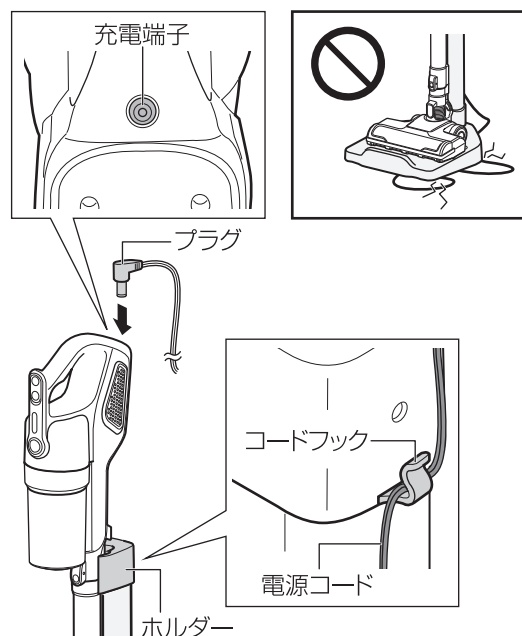
1 本体に延長パイプ、パワーヘッドを接続し、スタンドに取り付ける

- ※本製品がスタンドのホルダーに確実に固定されていることを確認してください。
- ※スタンドは、不安定なところに設置しないでください。
- ※スタンドの周囲に倒れやすいものがないか確認してください。
- ※子供やペットが近づかないようにしてください。



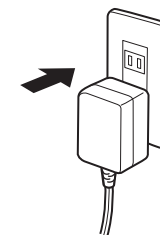
2 電源アダプターのプラグを本体の充電端子に接続し、電源コードをホルダーのコードフックに引っかける

※電源コードが、スタンドベースと床に挟み込まれないようにご注意ください。



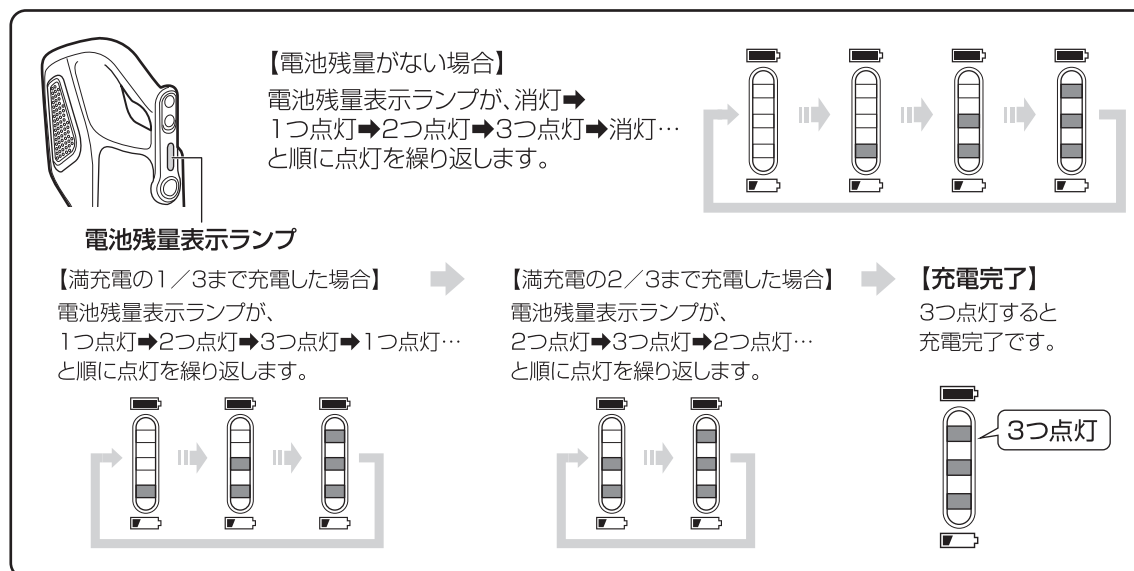
3 電源アダプターをコンセントにさし込む

- 本体の「電池残量表示ランプ」が点滅（緑）し、充電を開始します。
 - 充電中は、充電量を「電池残量表示ランプ」で確認できます。
- ※満充電までの目安時間は、約4時間です。



電池残量表示ランプについて

- 充電中、「電池残量表示ランプ」が充電量を4段階で表示します。
 - 満充電までの目安時間は、約4時間です。
- ※周囲温度・使用時間などのご使用の条件により、充電時間が長くなる場合があります。

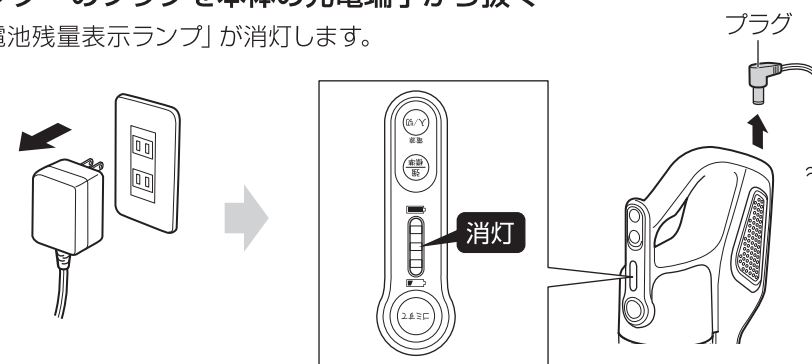


4 「電池残量表示ランプ」が3つとも点灯したら充電完了

※連続運転時間は約30分間です。（満充電、「標準」運転時。「強」運転時は約15分間）

5 電源アダプターをコンセントから抜き、電源アダプターのプラグを本体の充電端子から抜く

- 本体の「電池残量表示ランプ」が消灯します。



お使いになる前に

お使いになる前に

お願い

- 大きめの紙片や包装用フィルムなどは、お掃除の前にあらかじめ拾っておいてください。吸込口通路やダストカップ内部に詰まる場合があります。
- 運転中は必ずフィルターを取り付けてご使用ください。
- 運転中は必ずパワーヘッドまたは、付属のノズルを取り付けてご使用ください。
- 吸込口がふさがれたときは、すぐに運転を停止してください。
- ダストカップのゴミはこまめに捨ててください。ダストカップにゴミを溜めたまま使用しつづけると、吸引力の低下や故障の原因となります。
- フィルター・ダストフィルターが目詰まりした状態で使用し続けると、故障の原因となります。定期的にお手入れを行ってください。「お手入れのしかた (P.23ページ)」
- 持ち運ぶときは、必ずハンドルを持ってください。ダストカップや延長パイプを持つと、落下や破損・けがの原因となります。
- 本製品は自立しません。掃除を途中で中断するときは、必ず電源を切り、付属のスタンドに立ててください。

警告

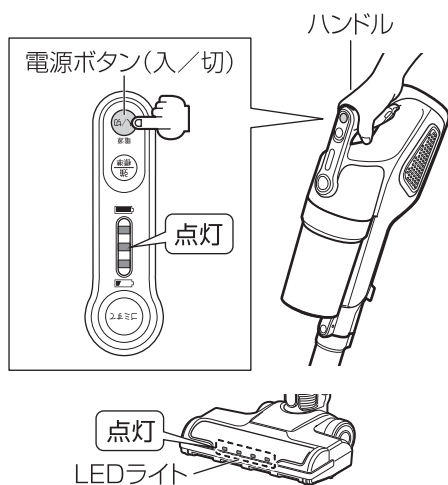
- 運転中は、絶対にパワーヘッドの回転部に触れないでください。けがや故障の原因となります。特に幼児や子供、不慣れな人には注意してください。

1 本製品を付属のスタンドから取り外す

※本手順は、スティッククリーナーとして使用する場合で説明しています。

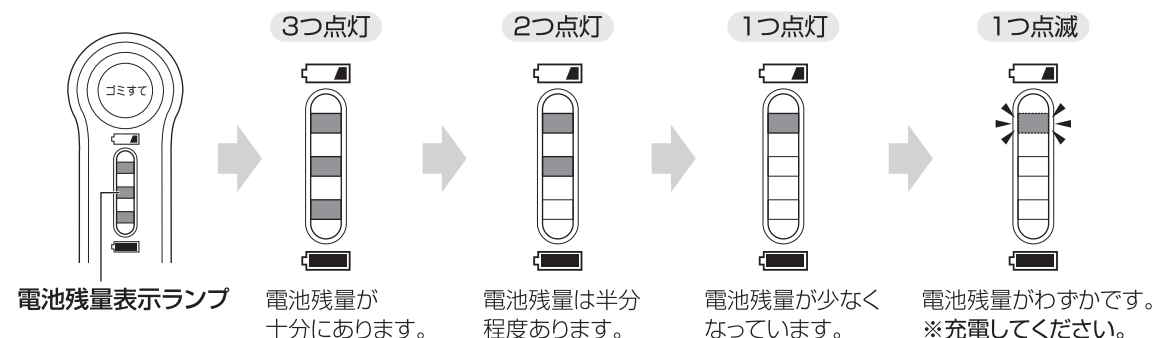
2 本体のハンドルをしっかりと持ち、「電源ボタン(入/切)」を押す

- 本体の「電池残量表示ランプ」が点灯(緑)し、「標準」で運転を開始します。
- 運転中は、電池の残量を「電池残量表示ランプ」で確認できます。(下記参照)
- パワーヘッドのLEDライトが点灯(白)します。
※運転中に電池残量がなくなると、過放電防止装置により自動停止します。
※運転中は絶対に「ゴミすてボタン」を押さないでください。



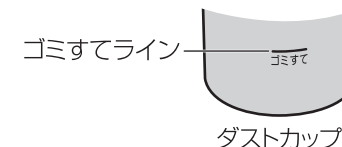
電池残量表示ランプについて

- 運転中は、電池の残量の目安を「電池残量表示ランプ」で確認できます。
※連続運転時間は約30分間です。(満充電、「標準」運転時。「強」運転時は約15分間)



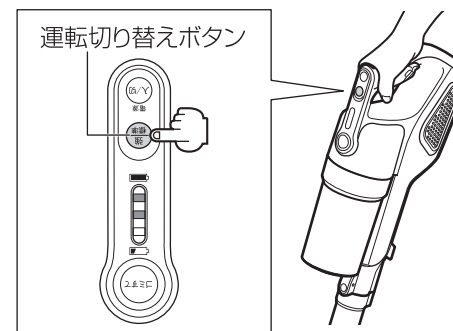
ダストカップの「ゴミすてライン」について

- ダストカップの「ゴミすてライン」以上にゴミを溜めないでください。
- 定期的にダストカップのゴミの量を確認し、いっぱいになる前に捨ててください。ゴミを捨てるときは、必ず運転を停止してから行ってください。「ゴミを捨てる (P.20~22ページ)」



3 吸引力を切り替えるときは、「運転切り替えボタン」を押す

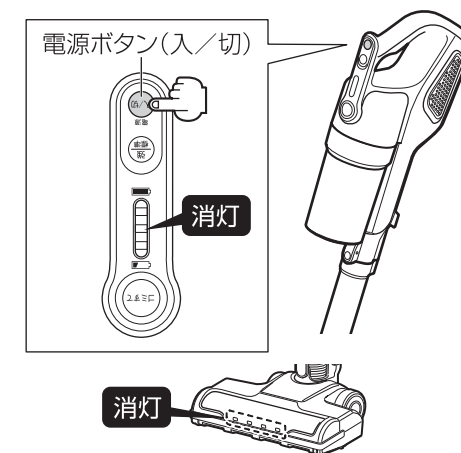
- 押すたびに、「強」運転と「標準」運転が順に切り替わります。
※運転開始の吸引力は「標準」です。



- 「通常」運転: 通常のお掃除
- 「強」運転: 強い吸引力でお掃除したいとき

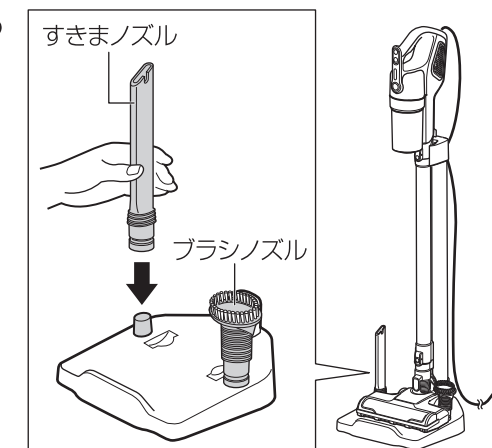
4 掃除が終わったら、「電源ボタン(入/切)」を押す

- 本体の「電池残量表示ランプ」が消灯し、運転を停止します。
- パワーヘッドのLEDライトが消灯します。
※運転中に電池残量がなくなると、自動停止します。
※モーターの回転が確実に停止したことを確認してください。



5 本製品を付属のスタンドに取り付け、充電する

- ※紛失防止のため、付属のすきまノズル/ブラシノズルは、スタンドベースのノズル収納部に収納してください。
※充電してください。

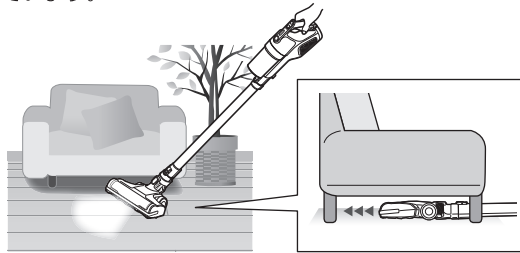


掃除する場所に合わせて、パワーヘッドとノズルを使い分ける

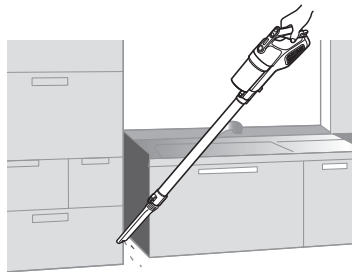
●延長パイプやパワーヘッド・すきまノズル・ブラシノズルは次のような場所でご使用ください。

スティッククリーナーとして使用する場合

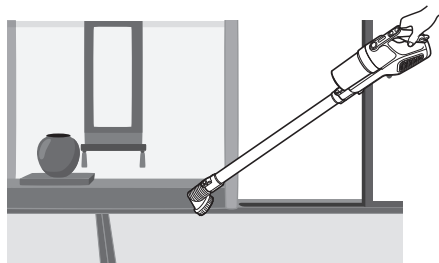
- マット・じゅうたん・畳・フローリングなど（ソファの下など、暗い場所ではパワーヘッドのLEDライトが便利です）
- ※毛足の長いじゅうたんなど、種類によっては、回転ブラシが回転しない場合があります。
- 本製品は床と水平にすることで、ソファの下などの狭いところにもパワーヘッドが届きやすい構造になっています。



- 部屋の隅やすき間
- 壁と家具のすき間などの手の届かないところ

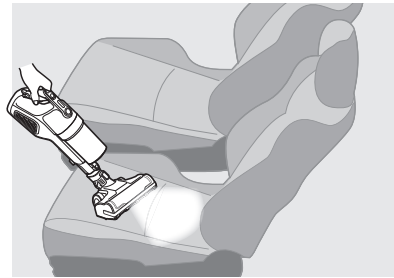


- 部屋の隅やすき間
- 壁と家具のすき間
- 畳や床の間など

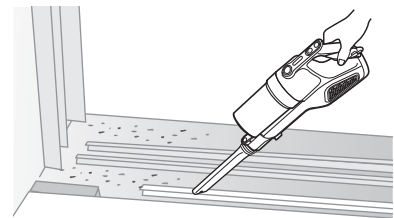


ハンディクリーナーとして使用する場合

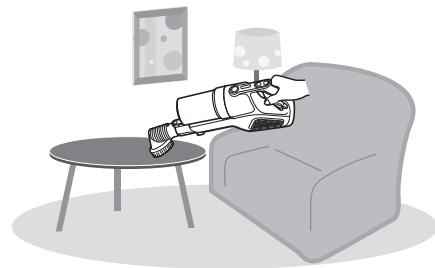
- ソファやいすなど（手元が暗い場所ではパワーヘッドのLEDライトが便利です）



- サッシの溝
- 部屋の隅・家具・小物などのすき間



- テーブルや机の上・小物など

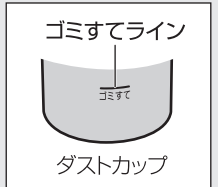


お願い

- 回転ブラシにゴミなどがからみついたままで長時間使わないでください。
- 掃除するときは、力を入れず、畳の目やフローリングの木目に沿って軽くゆっくり動かしてください。強く押しつけると床面や家具に傷をつける原因となります。
- ピアノなどの光沢のある所には使わないでください。傷がつくおそれがあります。

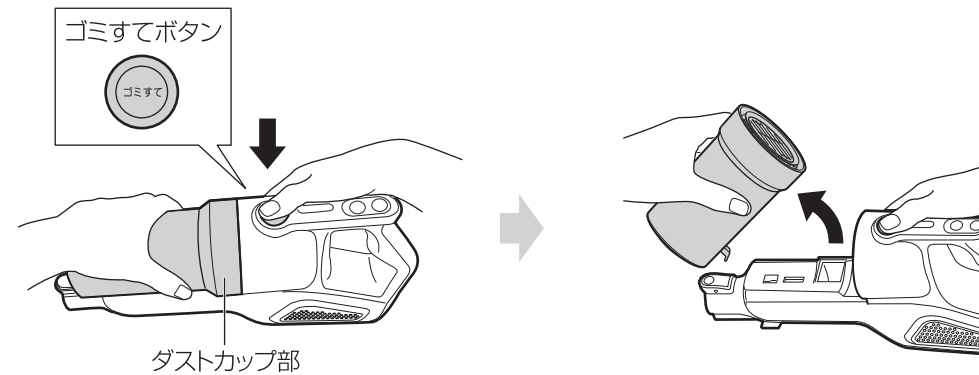
お願い

- ゴミを捨てるときは、必ず運転を停止してください。
- 定期的にダストカップのゴミの量を確認し、いっぱいになる前に捨ててください。
- ダストカップ内部に溜まったゴミは、ご使用のたびに捨ててください。
- 運転中は絶対に「ゴミすてボタン」を押さないでください。
- ダストカップの「ゴミすてライン」以上にゴミを溜めないでください。（右記参照）吸引力低下の原因となります。



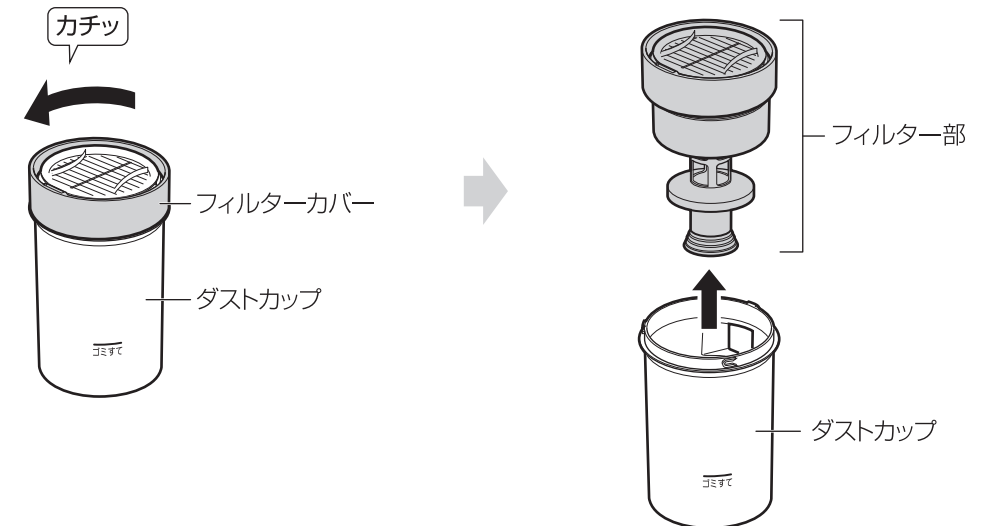
1 「ゴミすてボタン」を押し、ダストカップ部を取り外す

- ※ ゴミが飛び散る場合がありますので、新聞紙などを敷いて取り外してください。
- ※ 「ゴミすてボタン」を押さずに、無理にダストカップを取り外さないでください。



2 フィルターカバーを左に回し、フィルター部をダストカップから取り出す

- “カチッ”と音がするまで左に回してから、上に引き抜いてください。

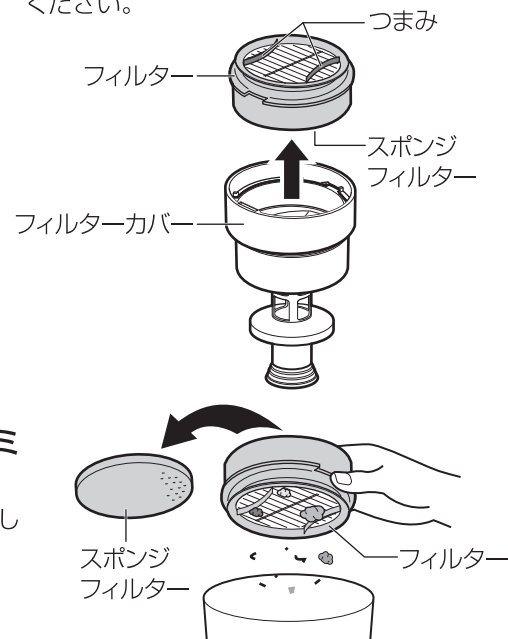


ゴミを捨てる

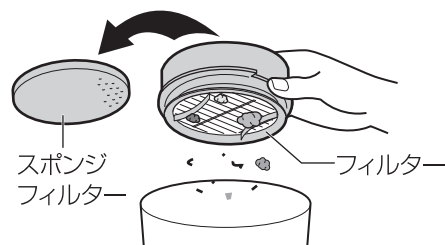
3 ダストカップに溜まったゴミを捨てる
 ※汚れが気になる場合は、お手入れを行ってください。
 「お手入れのしかた (P.23 ページ)」



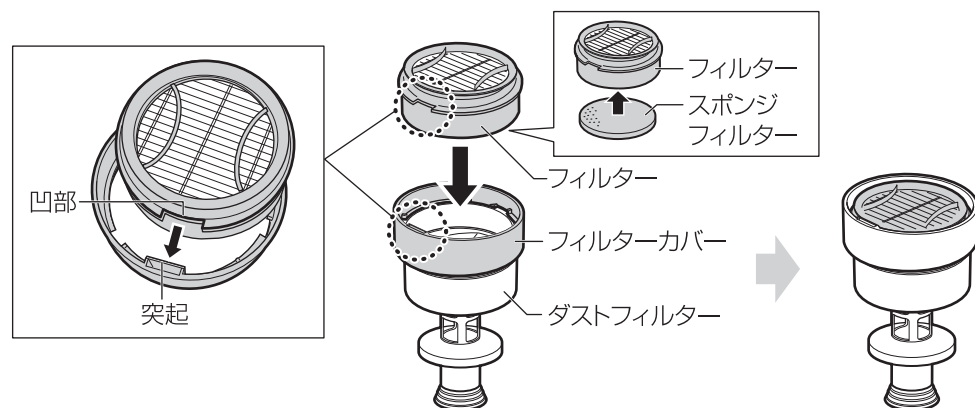
4 フィルターをフィルターカバーから取り外す
 ● フィルターのつまみを持って、上に引き抜いてください。



5 フィルター・スポンジフィルターに付着したゴミを取り除く
 ● スポンジフィルターをフィルターから取り外し、付着したゴミを取り除いてください。
 ※汚れが気になる場合は、お手入れを行ってください。
 「お手入れのしかた (P.24 ページ)」

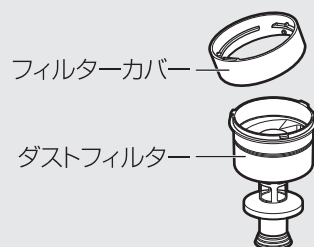






6 フィルターの向きを確認し、フィルターカバーに取り付ける
 ● スポンジフィルターをフィルターに取り付けてください。
 ● フィルターの凹部をフィルターカバーの凸部に合わせて取り付けてください。
 ※フィルター・フィルターカバーが正しく取り付けられていることを確認してください。

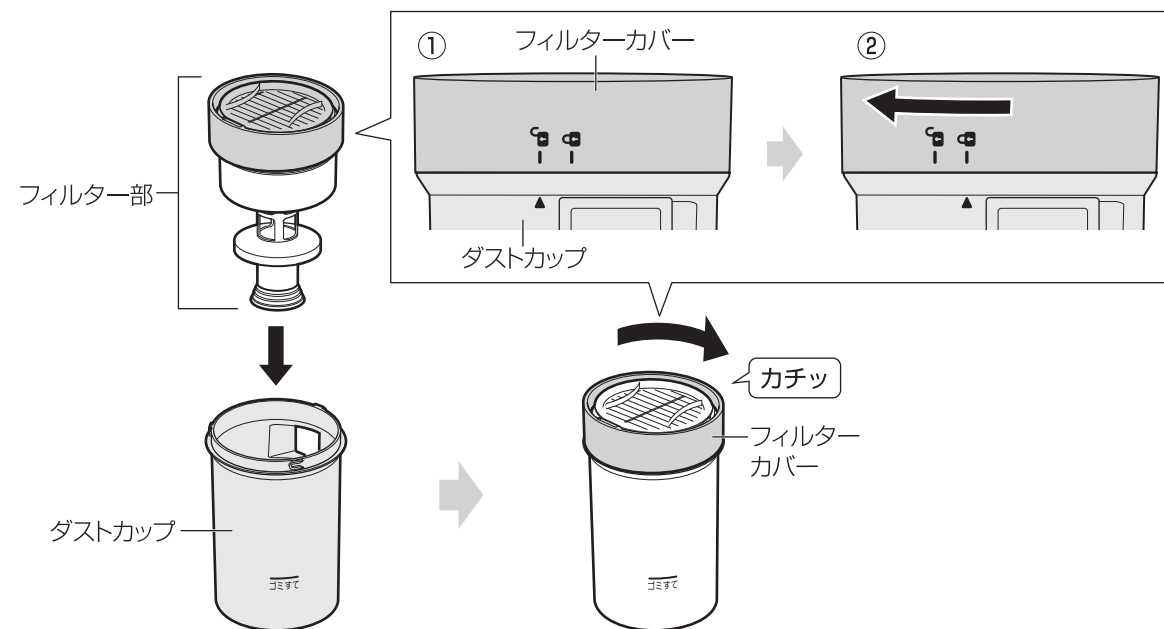


フィルターカバーがダストフィルターから外れた場合や、ダストフィルターのお手入れを行う場合は、「お手入れのしかた (P.24 ページ)」に従って、取り付け/取り外しを行ってください。

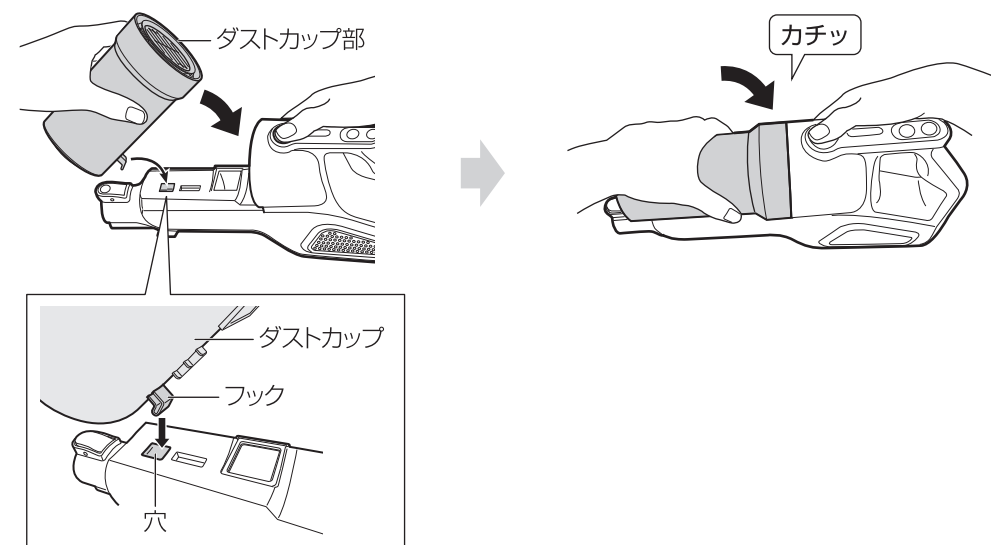
※フィルターカバーが正しく取り付けられていないと、ダストカップ部を本体に取り付けることができません。



7 フィルター部をダストカップに取り付ける
 ① フィルターカバーの「」印を、ダストカップの「」印に合わせ、はめ込む
 ② フィルターカバーを時計回りに回し、「」印を「」印の位置に合わせる
 ● “カチッ”と音がするまで回し、確実に取り付けてください。



8 ダストカップ部を本体に取り付ける
 ● ダストカップのフックを本体の穴にさし込み、“カチッ”と音がするまで確実に取り付けてください。
 ※フィルターは必ず取り付けてください。
 ※取り付けができない場合は、フィルターカバーが正しく取り付けられているか確認してください。
 「お手入れのしかた (P.24 ページ)」



使いかた

使いかた

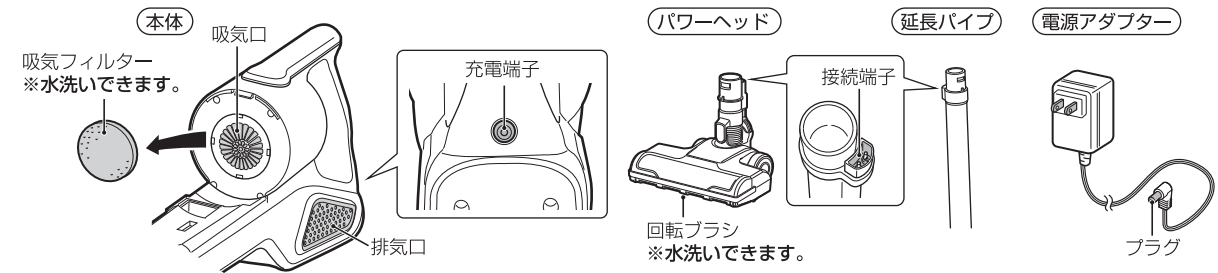
お願い

- お手入れを行うときは必ず運転を停止し、電源アダプターをコンセントから抜き、プラグを本体の充電端子から抜いて行ってください。
- 次の部品は、絶対に水につけたり水洗いしないでください。感電・故障の原因となります。
・本体 ・延長パイプ ・スタンド ・電源アダプター ・パワーヘッド
- お手入れの際にシンナー・アルコール・ベンジン・アルカリ性洗剤・漂白剤などを使わないでください。変色・変形・変質・破損し、故障の原因となります。
- ダストカップ部や吸気口・排気口、パワーヘッドに汚れが付着したまま使用すると、吸引力が弱くなったり、モーターが故障する原因となります。定期的にお手入れを行ってください。
- ダストカップ部はこまめにお手入れを行ってください。
- 水洗いしたあとは、水をよく切って十分に陰干ししてください。ぬれたまま取り付けると、感電・発火の原因となります。
- ドライヤーなどの熱風を当てないでください。変形や故障の原因となります。
- 粉末や砂などを吸い込むと、各フィルターが目詰まりをおこす場合があります。粉末や砂などを吸込んだときは、すぐにお手入れを行ってください。

消耗部品はメーカー保証対象外で有償です。ご使用にともない劣化したり損傷したときは、お買上げの販売店または株式会社ヤマダホールディングス「お客様相談室」にご相談ください。

本体・パワーヘッド(表面/端子)・延長パイプ・スタンド・電源アダプターのお手入れ

- 水を含ませた柔らかい布をかたくしぼって拭いてから、乾いた布で拭いてください。汚れが落ちにくいときは、水でうすめた台所用中性洗剤を含ませた柔らかい布をかたくしぼって拭いたあと、洗剤を拭きとってください。
※シンナー・ベンジン・漂白剤・研磨剤入り洗剤などは使わないでください。
- 吸気口・排気口についたホコリは取り除いてください。ホコリがついたまま使用すると故障の原因となります。
- 本体・パワーヘッド・延長パイプ・電源アダプターの各端子についた汚れは、柔らかい布で拭き取ってください。



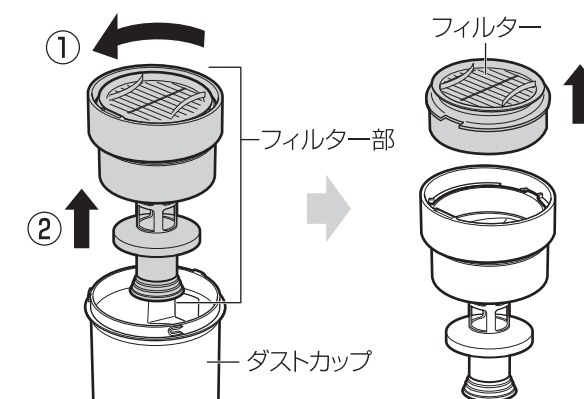
フィルター・スポンジフィルター・吸気フィルターのお手入れ

- 汚れをブラシなどで取り除いてください。
※毛の硬いブラシは使わないでください。傷がつくおそれがあります。
- 汚れが落ちにくいときは、水洗いをしてください。水洗いしたあとは、水をよく切って十分に陰干ししてください。ぬれたまま取り付けると、感電・発火・故障の原因となります。
※35℃以上のお湯で洗わないでください。
※もみ洗い、つけ洗いをしないでください。破損するおそれがあります。
※ドライヤーなどの熱風で乾燥させないでください。変色・変形の原因となります。

ダストカップ部のお手入れ

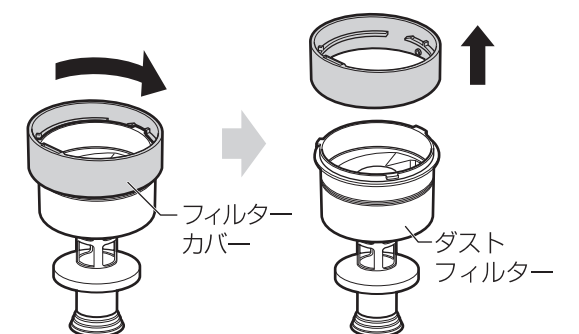
- ダストカップ部はこまめにお手入れを行ってください。
- 汚れが落ちにくいときは、水洗いをしてください。水洗いしたあとは、水をよく切って十分に陰干ししてください。ぬれたまま取り付けると、感電・発火・故障の原因となります。
※35℃以上のお湯で洗わないでください。
※ドライヤーなどの熱風で乾燥させないでください。変色・変形の原因となります。

1 フィルター部をダストカップから取り出し、フィルターを取り外す (20ページ参照)



2 フィルターカバーを右に回し、ダストフィルターから取り外す

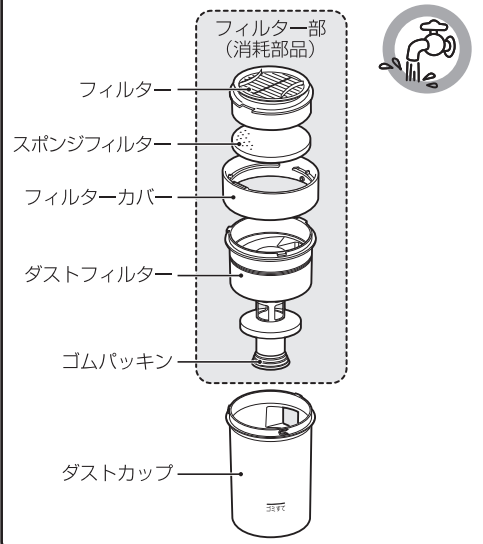
- フィルターカバーは右に突き当たるまで回し、上に取り外してください。



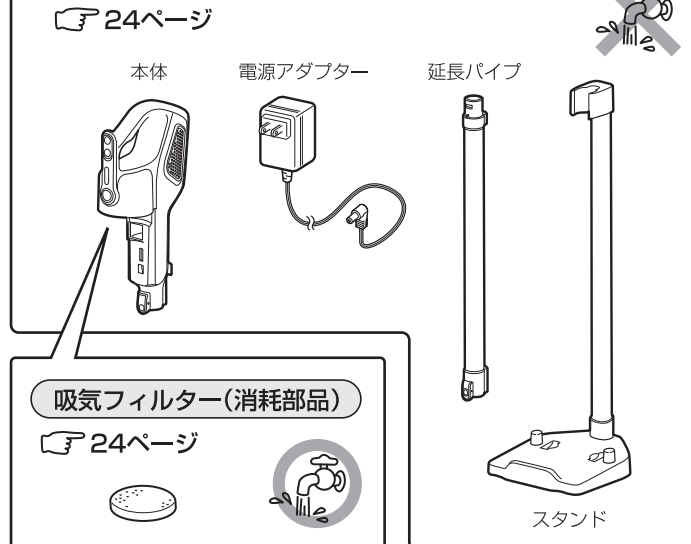
長く愛用いただくために

長く愛用いただくために

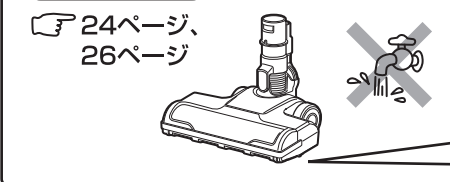
ダストカップ部 24ページ



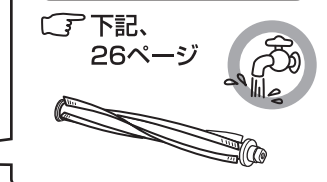
本体・電源アダプター・延長パイプ・スタンド 24ページ



パワーヘッド 24ページ、26ページ



回転ブラシ(消耗部品) 下記、26ページ



ノズル 下記



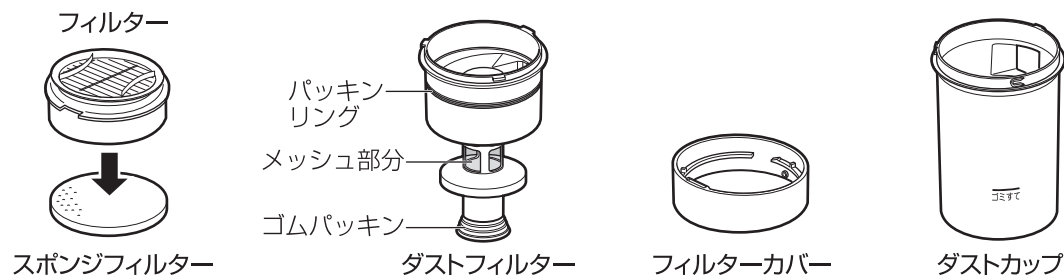
回転ブラシ・すきまノズル・ブラシノズルのお手入れ

- 回転ブラシ・すきまノズル・ブラシノズルにゴミがついたり、詰まったりした場合は取り除いてください。
- 汚れが落ちにくいときは、水洗いをしてください。水洗いしたあとは、水をよく切って十分に陰干ししてください。ぬれたまま取り付けると、感電・発火・故障の原因となります。

お手入れのしかた

3 各部品のお手入れを行う

- フィルターは、スポンジフィルターを取り外し、フィルターの外側を軽くたたいて付着しているゴミや汚れを取り除いてください。細かい汚れは毛の柔らかいブラシなどで取り除いてください。
※スポンジフィルターに付着しているゴミや汚れも取り除いてください。
「フィルター・スポンジフィルター・吸気フィルターのお手入れ」(P.24 参照)
- ダストフィルターの内側についた汚れは、歯ブラシなどでかき出してください。
※ダストフィルターのメッシュ部分が破損しないように、注意してお手入れを行ってください。
※パッキンは必ず取り付けてください。ゴミの飛び散りや吸引力が低下する原因となります。



※パッキンリングは、必ず溝にはめてください。

※ダストフィルターは分解しないでください。外れた場合は、下記を参考に取り付けてください。

突起を切りかきにし込み、ロックする

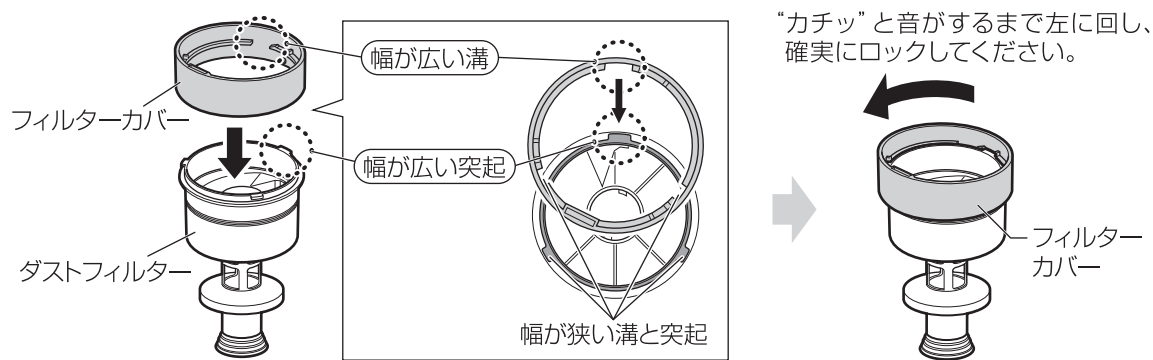
①さし込む

②矢印の方向に回してロックする

ロック状態

4 フィルターカバーをダストフィルターに取り付け、左に回してロックする

- フィルターカバーの溝 (幅が広い) とダストフィルターの突起 (幅が広い) を合わせ、はめ込んでください。
※幅が広い溝と突起を合わせていない場合、正しく取り付けできません。



5 フィルター部 (フィルター・スポンジフィルター・フィルターカバー・ダストフィルター) をダストカップに取り付け、本体に取り付ける (P.21~22 参照)

※手順1 (取り外したとき) と反対の手順で取り付けてください。



警告

- ぬれているダストカップやフィルター・スポンジフィルター・フィルターカバー・ダストフィルターは使わないでください。感電・発火・故障の原因となります。

パワーヘッドのお手入れ

- パワーヘッドの表面についた汚れは、本体のお手入れを参考に行ってください。(P.24 参照)
- 回転ブラシを水洗いする場合は、回転ブラシのお手入れを参考に行ってください。(P.23 参照)
- パワーヘッドにゴミが詰まったり、回転ブラシにゴミが巻きついた場合は取り除いてください。
- 吸込口付近、起毛布についたゴミや異物は、市販のブラシなどで取り除いてください。
- 回転ブラシはパワーヘッドから取り外すことができます。回転ブラシやローラーに糸くずや髪の毛などがからみついたときは、はさみで取り除いてください。



※ゴミがからみついたままお使いになると、パワーヘッドにゴミが詰まり吸引力が弱くなり、故障の原因となります。



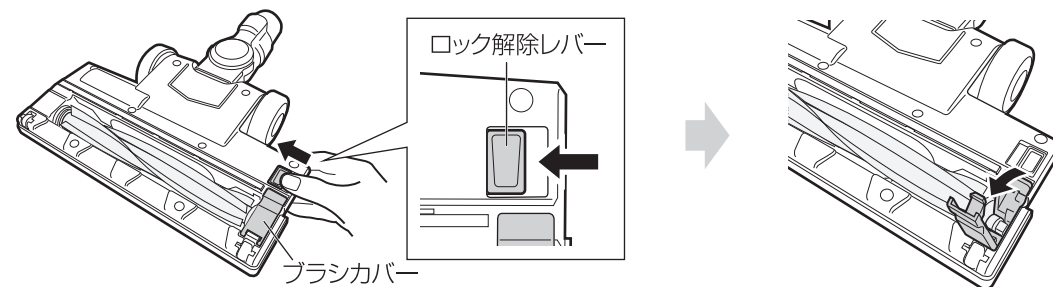
警告

- 運転中は、絶対にパワーヘッドの回転部に触れないでください。けがや故障の原因となります。

回転ブラシの取り外しかた / 取り付けかた

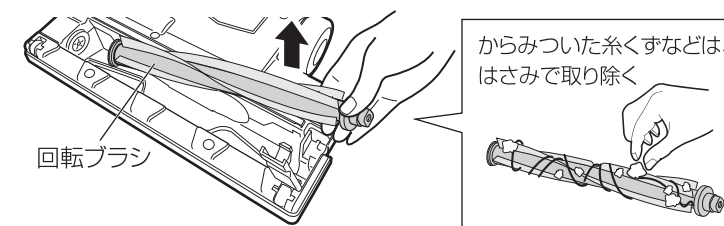
1 ロック解除レバーを「OPEN (↑)」の方向へ押す

- ブラシカバーが開きます。
- ※ ブラシカバーが開かない場合は、ロック解除レバーを押しながら、ブラシカバーを引き上げてください。



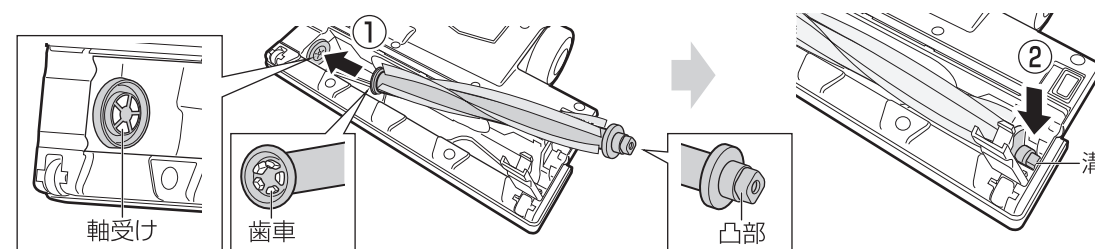
2 回転ブラシを取り外し、お手入れを行う

- 回転ブラシを水洗いする場合は、23ページをご参照ください。



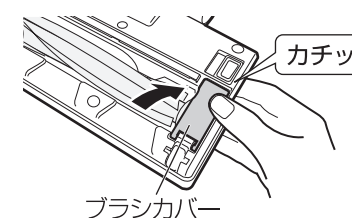
3 回転ブラシの向きを確認し、パワーヘッドに取り付ける

- ① 回転ブラシの軸 (歯車側) をパワーヘッドの軸受けにさし込む
- ② 回転ブラシの軸 (凸部側) を反対側の溝に取り付ける



4 ブラシカバーを閉じる

- ※ “カチッ”と音がするまで、確実に閉じてください。



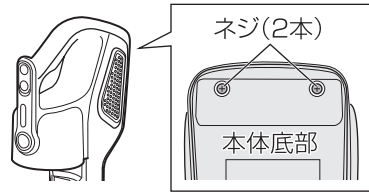
長くご利用いただくために

長くご利用いただくために

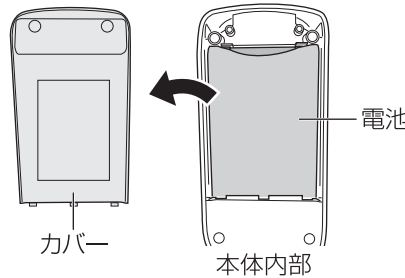
リサイクルへのご協力をお願いします。
 この商品には、リサイクル可能なリチウムイオン電池を使用しています。
 リチウムイオン電池は、リサイクル可能な貴重な資源です。
 電池は消耗品です。くり返しご使用になりますと使用時間が徐々に短くなります。
 電池の寿命は周囲温度、使用時間など、ご使用の条件により異なりますが、目安として満充電約500回です。正しく充電しても使用時間が著しく短くなる場合は、電池の寿命と考えられます。

- 電池を取り外す前に、電源を「入」にし、動作しないことを確認してから、電池を取り外してください。動作するときは、停止するまで完全に放電させたあと、取り外してください。

1 本体底部のネジ2本を外す

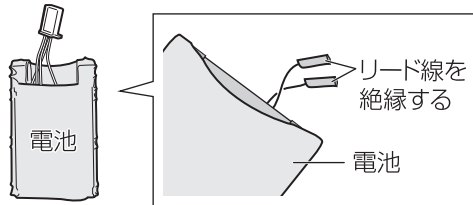


2 本体のカバーを取り外す



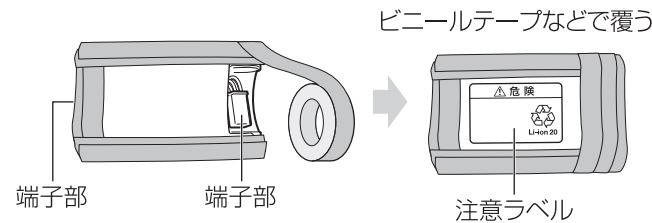
3 電池を取り出し、コネクタ(3カ所)を引き抜く

※コネクタを引き抜くときにリード線が切れた場合は、ショート防止のため、ビニールテープなどで絶縁してください。



4 電池を処分する

※注意ラベルを隠さずに、取り外した端子部と基板を露出しないようにビニールテープなどでしっかり覆って絶縁してください。
 ※電池を取り外した本体・付属品などは、各自治体の指示に従って処分してください。



⚠ 危険

- 火の中に投下したり加熱しないでください。液漏れ・発熱・破裂・発火の原因となります。
- 電池の端子にピンなどの金属物やゴミを付着させないでください。感電・発火の原因となります。
- 水をかけたり、水の中に入れてください。液漏れ・発熱・感電・発火の原因となります。

⚠ 警告

- 商品を廃棄するとき以外は、絶対に分解・修理・改造はしないでください。火災・感電・けがの原因となります。

リサイクルへのご協力のお願い



リチウムイオン電池

- 本体に内蔵されているバッテリーはリサイクル可能な貴重な資源です。これらの金属はリサイクルして再利用できます。また、再利用することは、ゴミを減らし、環境を守ることに繋がります。ご使用済みの電池は捨てないで、お買上げの販売店または、最寄りのリサイクル協力店へお持ちください。詳細は、一般社団法人JBRCのホームページをご参照ください。ホームページ：http://www.jbrc.com
- 注意ラベルを隠さずに、取り外した端子部と基板を露出しないようにビニールテープなどでしっかり覆って絶縁してください。

修理を依頼される前に、次のことをお確かめください。

症状	確認してください	処置の方法	参照ページ
運転しない	電池が消耗していませんか？	電池を充電してください。	15
充電しても運転時間が短い	電池が消耗していませんか？	電池を充電してください。	15
	室温が低すぎる場所や、高温になる場所で充電していませんか？	室温が5℃～35℃の場所で充電してください。	15
	リチウムイオン電池の寿命ではありませんか？	お買上げの販売店または株式会社ヤマダホールディングス「お客様相談室」にご相談ください。	30
運転が途中でとまる	電池が消耗していませんか？	電池を充電してください。	15
吸引力が弱い	電池が消耗していませんか？	電池を充電してください。	15
運転音が大きくなった 吸引力が弱くなった	ダストカップがゴミでいっぱいになっていませんか？	ゴミを捨ててください。	20 21
	フィルター部分が汚れていませんか？	お手入れを行ってください。	24
	吸込口にゴミが詰まっていますか？	詰まっているゴミを取り除いてください。	-
	延長パイプ・パワーヘッド・ノズル・吸込口にゴミが詰まっていますか？	詰まっているゴミを取り除いてください。	-
電池残量表示ランプが点灯しない	吸気口や排気口にゴミやホコリが付着していませんか？	お手入れを行ってください。	24
	電源アダプターはコンセントにさし込まれていますか？	電源アダプターをコンセントにさし込んでください。	16
回転ブラシが回転しない	電源アダプターのプラグは、本体の充電端子にさし込まれていますか？	電源アダプターのプラグを本体の充電端子にさし込んでください。	15
	電源アダプターのプラグや本体の充電端子が汚れていませんか？	お手入れを行ってください。	24
回転ブラシが回転しない	回転ブラシにゴミや糸くずがからみついていますか？	回転ブラシにからみついたゴミなどをはさみで取り除いてください。	26
	ゴミや敷物を巻き込んでいませんか？	取り除いてください。	26
ダストカップが閉まらない	毛足の長いじゅうたんの上で掃除していませんか？	毛足の長いじゅうたんなど、種類によっては回転ブラシが回転しない場合があります。	19
	フィルター部は正しくセットされていますか？	フィルター部を正しくセットし直してください。	20 24
悪臭がする	フィルター部分が汚れていませんか？	お手入れを行ってください。	24

長くご愛用いただくために

長くご愛用いただくために

故障かな？と思ったら

症状	確認してください	処置の方法	参照ページ
排気がにおう	ダストカップ部を水洗いしたあと、十分に乾燥しましたか？	乾燥が不十分な状態で使用すると、においが発生する原因となります。十分に乾燥させてください。	24
	フィルター部を水洗いしたあと、十分に乾燥しましたか？	乾燥が不十分な状態で使用すると、においが発生する原因となります。十分に乾燥させてください。	24
フィルターカバーがダストフィルターに取り付けられない	正しい位置で取り付けていますか？	幅が広い溝と、幅が広い突起を合わせてはめ込んでください。	25
本体のLEDランプが点滅し、運転が停止する	パワーヘッドにゴミなどがからみついていますか？	モーター保護装置のはたらきにより運転が停止します。お手入れを行ってください。	10 26
充電中、本体が熱い	充電電流が流れているため、少し熱くなりますが故障ではありません。		-
使用中、本体が温かい	電流が流れているため、少し温かくなりますが故障ではありません。		-


点検後、異常がある場合は、ご自分で修理しないでお買上げの販売店または株式会社ヤマダホールディングス「お客様相談室」にご相談ください。詳しくは、30ページの「修理サービスについて」をご参照ください。

仕様

品名	コードレススティッククリーナー
品番	YC-S36G1
電源	入力：交流100V 50-60Hz 共用 出力：直流23V 0.6A
集塵容積	0.35L
運転音	約 73dB
充電時間	約 4 時間 ※室温や使用時間などにより異なります。
使用周囲温度	0 ~ 40℃
連続使用時間	強：約 15 分、標準：約 30 分（満充電時）
バッテリー	リチウムイオン電池（2150mAh、18V）
外形寸法	本体：長さ約 380×幅約 90×高さ約 180mm スティッククリーナー：長さ約 1130×幅約 230×高さ約 180mm
質量	本体：約 1.2kg、スティッククリーナー：約 1.9kg
電源アダプター	コードの長さ 約 1.5m
付属品	スタンド・すきまノズル・ブラシノズル
消耗部品	電池・フィルター部・吸気フィルター・回転ブラシ

- 充電完了後も、充電アダプターがさし込まれていると、約0.5Wの電力を消費します。
- 仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。
- この製品は、海外ではご使用になれません。FOR USE IN JAPAN ONLY

愛情点検 長年ご使用のコードレススティッククリーナーの点検を！



こんな症状はありませんか

- 本体が変形したり、異常に熱い。
- 電源コードや電源アダプターが変形・変色・損傷している。
- 電源コードの一部や電源アダプターがいつもより熱い。
- 電源アダプターのプラグや電源コードを動かすと電池残量表示ランプが点灯したり、しなかったりする。
- 異常なおいや音、振動がする。
- ビリビリと電気を感じる。

こんなときは

使用を中止してください。

故障や事故防止のため、電源アダプターを抜いて、必ずお買上げの販売店に点検をご相談ください。

こんなことはありませんか

電源アダプターにホコリやゴミが溜まっている。

→

ホコリやゴミを取り除いてください。

修理サービスについて

(1) 保証書

- この製品には、保証書がついています。保証書は、お買上げの販売店で『販売店名・お買上げ日』等の記入をご確認のうえ、内容をよくお読みのもと、大切に保管してください。なお、製品の修理以外の保証はいたしかねます。保証期間は、お買上げ日より本体 1 年間です。

(2) 修理を依頼される時

- 保証期間中は内部機構をさわらずに（保証期間外の場合でも内部はさわらないでください）お買上げの販売店に修理をご依頼ください。保証書の記載内容により修理いたします。保証書のご提示なき場合、有料修理となることがあります。
- 保証期間が過ぎているときはお買上げの販売店または株式会社ヤマダホールディングス「お客様相談室」にご相談ください。修理により使用できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

(3) 補修用性能部品の保有期間

このコードレススティッククリーナーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の保有期間は、製造打切後6年です。

(4) ご使用中ふだんと変わった状態になりましたら、ただちにご使用を中止し、お買上げの販売店に点検・修理をご依頼ください。

- お客様ご自身での分解・修理は危険です。修理には特殊な技術が必要です。

(5) 修理サービスについてご不明な場合

- 修理サービスや製品についてのご相談は、お買上げの販売店または株式会社ヤマダホールディングス「お客様相談室」にお問い合わせください。
- ご転居やご贈答品等でお困りの場合は、株式会社ヤマダホールディングス「お客様相談室」にお問い合わせください。

株式会社ヤマダホールディングス

お客様相談室や保証書におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

- お客様相談室でお受けした個人情報、保証書にご記入いただいた個人情報は、商品、サービスに関わるご相談・お問い合わせおよび修理の対応のみを目的として用います。なお、この目的のために株式会社ヤマダホールディングスおよび関係会社で上記個人情報を利用することがあります。
- 上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては株式会社ヤマダホールディングスと同等の個人情報保護を行わせると共に、適切な管理・監督をいたします。